

令和5年度 千代の松原公園 ワークショップ かわらばん

●千代の松原公園ワークショップ概要

千代の松原公園の再整備に向けて、今年度2回のワークショップを開催しました。現在利用されている地区の方やグラウンドゴルフ利用者、子ども会の代表、中学生、イベントで活用していただいている事業者など様々な分野や年代のかたに集まっていただき、違った目線での活発な意見交換をしました。その様子や意見を「かわらばん」にまとめましたので、ぜひご覧ください。

お問い合わせ・連絡先
飛騨市役所 基盤整備部都市整備課
E-Mail : toshiseibi@city.hida.lg.jp

ワークショップスケジュール

第1回

- 令和5年10月28日(土)
「千代の松原公園でやりたいことってなんだろう？」
- ①ワークショップの説明や検討に向けた条件の確認
 - ②現地確認
 - ③グループワーク（意見交換）及び発表

第2回

- 令和5年12月16日(土)
「みんなで考えた公園プランを確認しよう」
- ①第1回ワークショップの振り返り
 - ②反映させた「公園ベース案」の説明
 - ③公園ベース案をもとに整備テーマや方針の意見交換

ワークショップ風景

①ワークショップの説明



②現地確認



③グループワーク



④グループ意見発表



第2回終了後イメージ平面図

各グループの意見

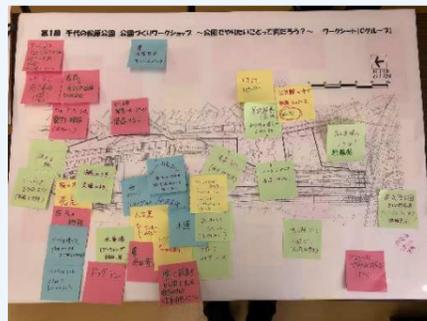
Aグループ



Bグループ



Cグループ



展望ゾーン

可倒式東屋の整備をすることで、真宗寺や山並み、宮川を眺めながらくつろげる空間としたい。

緑地保全ゾーン

緑地の環境向上のため既存樹の一部を伐採や人道橋を整備することで、虫取りや川などで、自然を体験できるような空間としたい。

人工芝生広場ゾーン

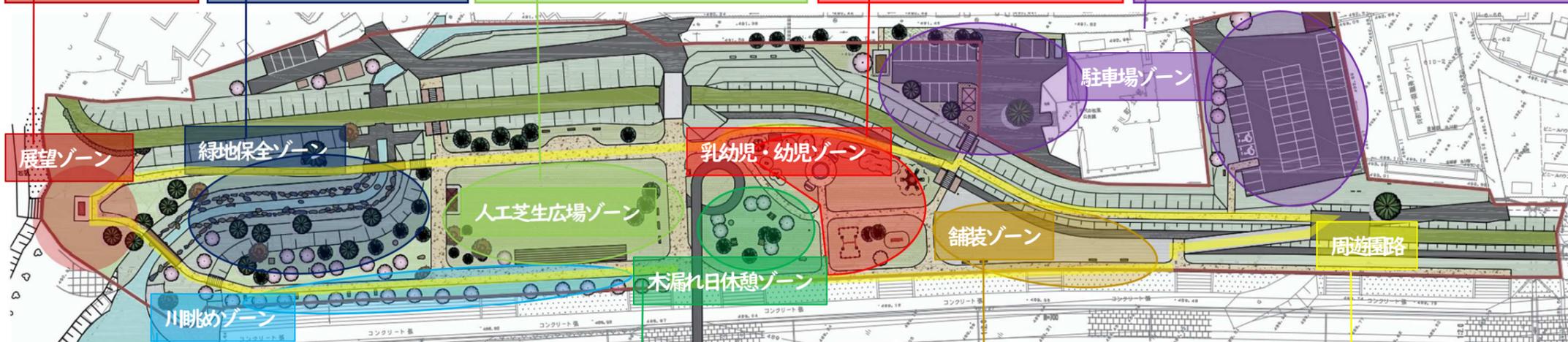
人工芝生やステージ（ウッドデッキ）の整備をすることで、日常的にはグラウンドゴルフやボール遊び等に活用しつつ、イベントの開催場所としても活用できる空間としたい。

乳幼児・幼児ゾーン

乳幼児、幼児を中心とした遊具や水で遊べる親子施設を整備、周辺は天然芝やウレタン弾性舗装で安全性を考慮し、走り回っても安心できる空間としたい。

駐車場ゾーン

現在公民館の駐車場として利用されているスペースではあるが、公民館と公園の一体的な駐車場の整備及びトイレ・授乳室を新たに整備することで、利便性を高めたい。また、河川内にある石碑、観音堂の移設をし、公園空間を拡げたい。



川眺めゾーン

樹木の木陰を利用し、寝そべりベンチを整備することで、近くの緑地を感じたり、宮川の流れや桜をゆっくり眺めたりする空間としたい。

木漏れ日休憩ゾーン

現況の樹木を生かしつつ、テーブルやベンチを整備することで、木漏れ日の中で食事や休憩、子どもたちを見守れる空間としたい。また、橋の上から桜をライトアップし、夜桜スポットとしたい。

舗装ゾーン

ウレタン弾性舗装を整備することで、子どもの自転車の練習やバスケットボール等の遊びができる舗装広場としたい。

周遊園路

展望ゾーンと川眺めゾーンをつなぐため、川を渡る人道橋を整備することで、ウォーキングコースや利用者の導線として周遊園路を整備したい。

まとめ

千代の松原公園は河川区域内の公園であることから、大型遊具を整備できないなどの制限がある公園です。しかし、みなさんと、できる範囲でやりたいことを話し合うことが出来ました。その中で、多かった意見を集約し、【子育て世代を中心に、地域の憩いと健康づくりの場となる公園】をテーマとしました。「かわらばん」を見て、さらなる意見がございましたら右上にあるお問い合わせのメールにご意見をお願いいたします。